

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.171)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設 春期定期点検のご報告

豊田PCB廃棄物処理施設では、6月11日(月)から6月22日(金)まで、12日間をかけて春期定期点検を実施しました。



●災害防止協議会の開催

定期点検に先立ち、5月28日(月)に「災害防止協議会」を開催しました。

この協議会は、定期点検期間中の作業において、事故や災害を発生させないことを目的に開催しており、作業を実施する施工業者の担当者が一堂に会して、基本的なルールや安全対策などを確認しました。

また、この定期点検期間中には安全パトロールを行い、作業が安全に行われているか、危険が潜んでいないか、更なる改善事項はないかを作業現場で確認しました。

●主な点検・工事の実施内容

今回の春期定期点検では、多くの点検・工事を行いました。その中から次の2件の点検・工事についてご紹介します。

・第2外調機コイル交換

所内の空気調和をするための外気処理空調機の整備として、冷却用のコイルを新品と交換しました。昨年、第1外調機の冷却コイルでブライン液が漏れ、用役排水の水質悪化を招きかねない状況になった事から、同様にブライン液を使用している第2外調機についても、コイルを新品に交換しました。交換した旧コイルが目立った腐食はありませんでしたが、今回の交換で、今後はより安心して所内の空気調和が確保できます。



・冷却塔冷却水循環ポンプバタフライ弁交換

当施設内には冷却を要するプロセスが多々あり、屋上に設置してある冷却塔は重要な設備です。冷却水はポンプで施設内を循環し、冷却塔で放熱されます。この冷却水を循環させる配管に設置してあるバタフライ弁が経年劣化により動きが悪くなっていました。これが動かなくなると、今後のメンテナンスに支障を来す恐れがありますので、今回新品と交換しました。



2. 施設見学について

平成30年度第1四半期の施設見学者数

	4月	5月	6月	計
団体数	0団体	6団体	2団体	8団体
見学者数	0名	38名	8名	46名



平成30年度第1四半期も、保管事業者の皆様をはじめ、行政の方々など、多くの皆様に当施設をご見学いただきました。
この施設見学を通じて、PCB廃棄物の処理状況等について、理解を深めていただいております。

施設見学をご希望の方は、下記の【豊田PCB処理事業HP】をご参照のうえ、0565-25-3110までお問い合わせください。お待ちしております。

PCB処理事業紹介シリーズ 第31回

豊田施設では高濃度PCB(ポリ塩化ビフェニル)が絶縁油として使われているトランスやコンデンサを処理しています。

今回はその処理物の中から少し形状が変わった車載トランスをご紹介します。

◆車載トランスとは

トランスは変圧器とも言われ、利用目的に応じて電圧を変えるための機器です。

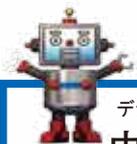
一般的なトランスは工場やビルなどの屋上や地下などに設置されています。

右の車載トランスは、東海道新幹線の車輻に搭載されていたもので重量約3.4トンの非常に堅固に作られたものです。



当施設では、トランスやコンデンサ以外にも、PCB油やPCB廃棄物を保管していた容器などを処理しています。

PCB廃棄物の処理については、下記のHPをご確認下さい。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのピーちゃん

